

令和4年度 第3回玉名市都市計画審議会資料 修正一覧

該当ページ番号	修正反映箇所	修正内容
本編 P27	本文2行目	「九州産交バス」を「産交バス」に修正
本編 P27	図 公共交通網	<p>図の更新（別紙） 最新のバス路線、乗合タクシーの運行範囲に修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いだてんタクシーの範囲拡大 ・オレンジタクシーの運行範囲追加 ・乗合タクシー特定乗降場所の追加 ・バスの廃止路線の削除
本編 P27	表	<p>表に最新の数値を追記</p> <p>表 市内を運行する路線バス（産交バス） 利用者数 R3年 466,605 R4年 485,698</p> <p>表 主要駅1日当りの乗車数 R3年度 玉名駅 2,065 大野下駅 285 新玉名駅 318</p>
本編 P68	(2) 交通 3行目	<p>「車両、施設のバリアフリー化」を削除 ※車両・施設のバリアフリー化に関しては行政が直接関与する者ではないため。</p>
本編 P67	[広域的な交流・連携…]二つ目の○	<p>(訂正)</p> <p>「…有明海沿岸道路(Ⅱ期)である熊本市～大牟田市間の早期完成に向け、国直轄による全線整備を要望するとともに、長洲町～大牟田市間の早期着工に努め、これに向けた連携を深めます。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「…有明海沿岸道路(熊本県側)である熊本市～大牟田市間の早期完成に向け、国直轄による全線整備と、長洲町～荒尾市間の早期着工を要望し、これに向けた連携を深めます。」</p>
資料1 P88	(1) 地域の現況 「地勢」4行目	「県北くまもと病院」を「くまもと県北病院」に訂正
資料2 P6	中部地域[地域の現況]3行目	

(3) 公共交通機関

- ◆ JRの主要駅1日当たりの乗車数は減少傾向
- ◆ バスの利用者数は減少傾向

本市の公共交通機関は、鉄道及びバスが主で、JR九州の運行する鹿児島本線(玉名駅、肥後伊倉駅、大野下駅)を基軸とし、産交バスが玉名駅を中心に、各地区や玉名温泉街など主要な観光地、周辺市町をつなぎ、市民の生活の足として機能しています。また、広域的な連携軸として新玉名駅が利用されています。

その他に市の施策として、乗合タクシー※・福祉バス※が各地域を巡っており、路線バスを補うように運行しています。

主要駅1日当たりの乗車数は、平成30年度から令和2年度にかけてすべての駅(玉名駅、大野下駅、新玉名駅)で減少していましたが、令和3年度では増加に転じています。

表 市内を運行する路線バス(産交バス)利用者数(人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
利用者数	902,757	864,525	798,047	774,220	757,610	789,656	797,530	503,381	466,605	485,698

[出典:玉名市資料]

表 主要駅1日当たりの乗車数(人/日) R4年度は未確定

年度	玉名駅	大野下駅	新玉名駅
平成30年度	2,632	380	640
令和元年度	2,548	357	602
令和2年度	1,971	266	287
令和3年度	2,065	285	318

[出典:JR九州公表「駅別乗車人員」]

※肥後伊倉駅は資料なし

凡例

- 新幹線
- 鉄道
- バス停留所
- 乗合タクシー特定乗降場所
- バス路線
- 福祉バス
- みかんタクシー
- いだてんタクシー
- いちごタクシー
- しおかぜタクシー
- おれんじタクシー(令和5年4月1日～運行開始)
- /// 用途地域界
- 都市計画区域
- 行政区境界

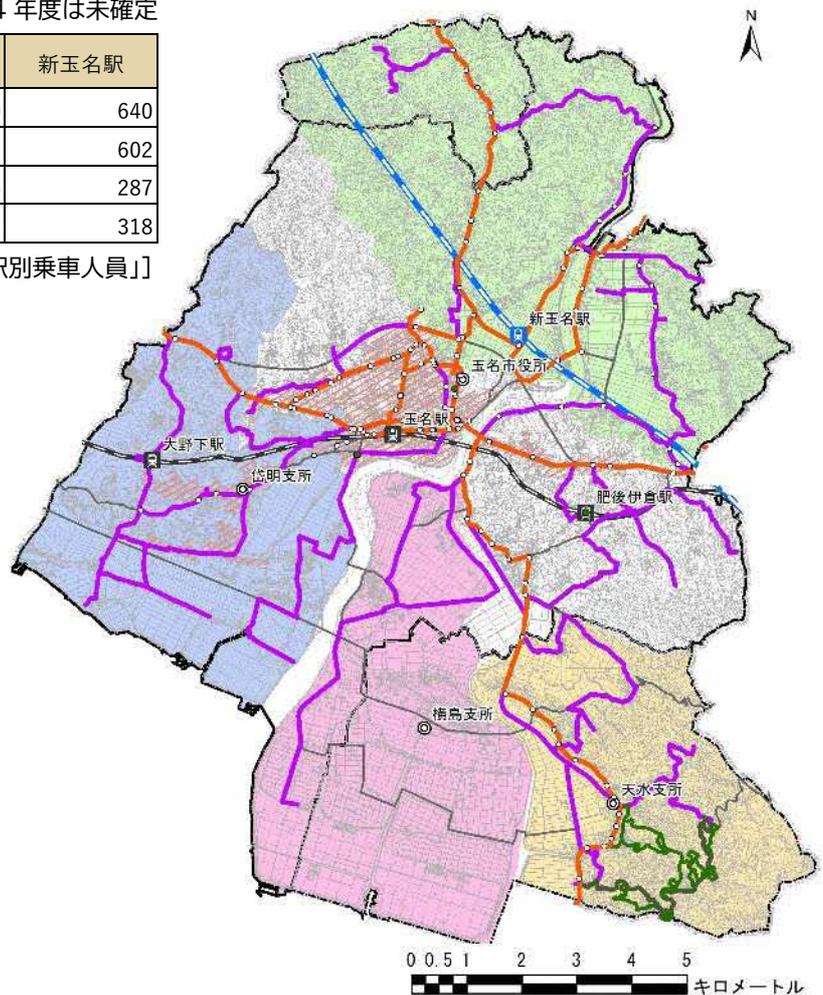


図 公共交通網

[出典:玉名市公共交通マップ]